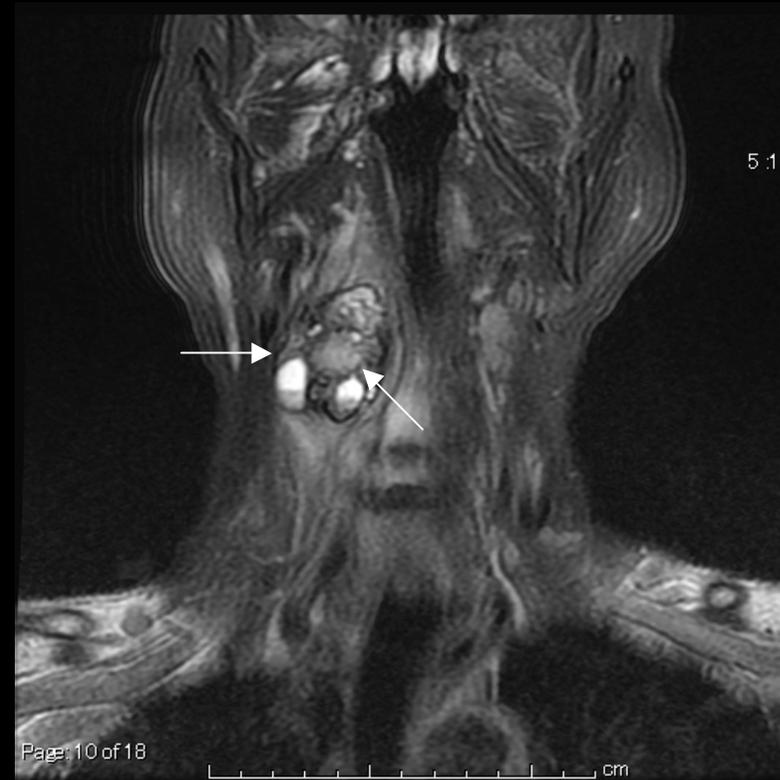
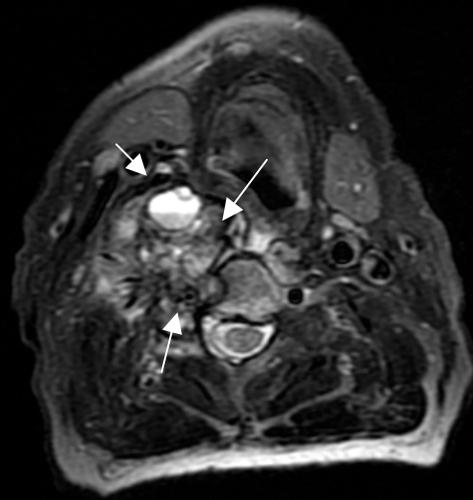


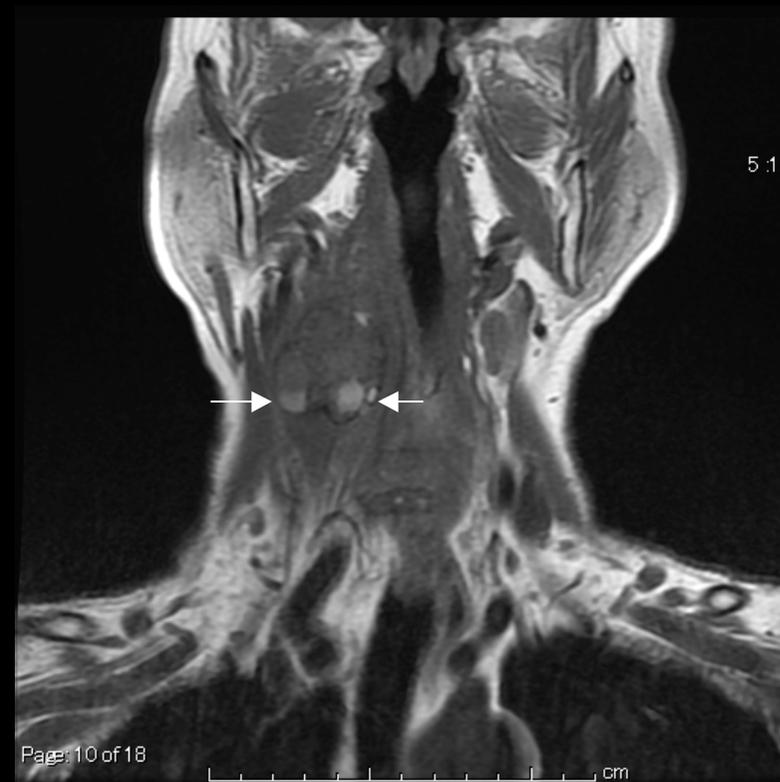
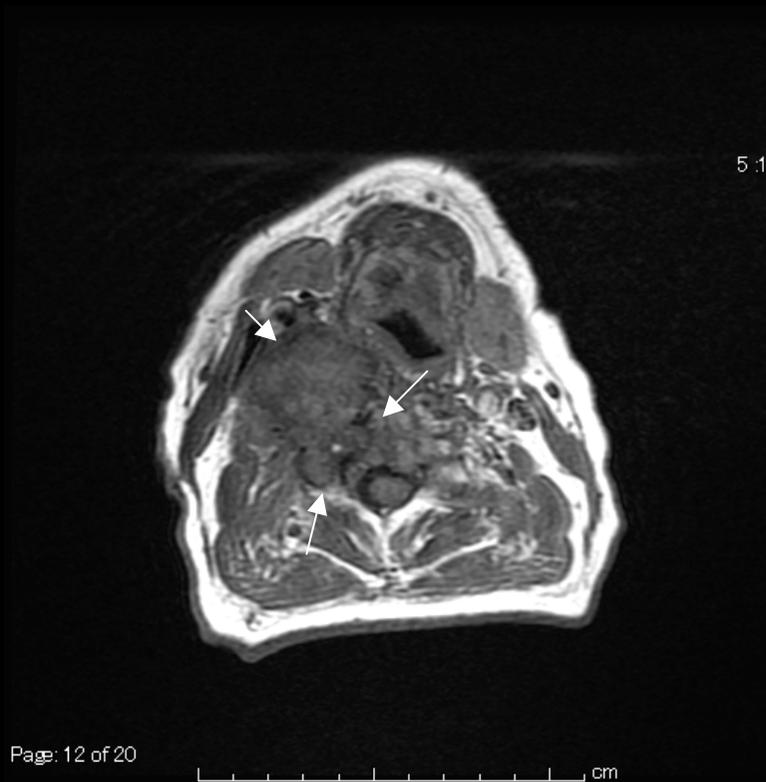
<MRI (T2WI) >

頸椎から骨外性に膨隆する腫瘤（辺縁石灰化、液面形成・出血あり）



<MRI (T1 WI) >

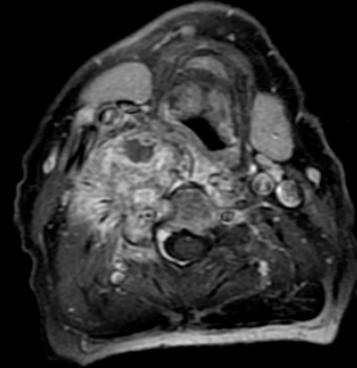
頸椎から骨外性に膨隆する腫瘤（辺縁石灰化、液面形成・出血あり）



MRI・造影

T1WI(F/S)

増強される骨外性腫瘍
(椎体破壊、嚢胞形成・
出血あり)



Page: 12 of 20

cm

5.1



5.1

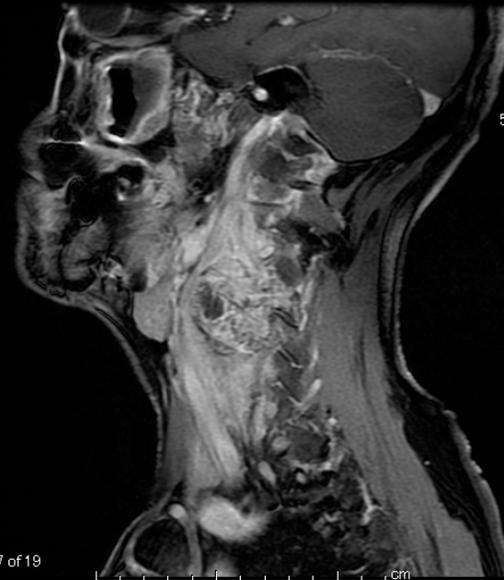
Page: 10 of 18

cm

MRI (造影

sag.) ,MR (MIP)

周囲構造の圧排・増強効果
あり (MRAでは血管奇形・
瘤形成なし)



5.1

Page: 7 of 19

cm



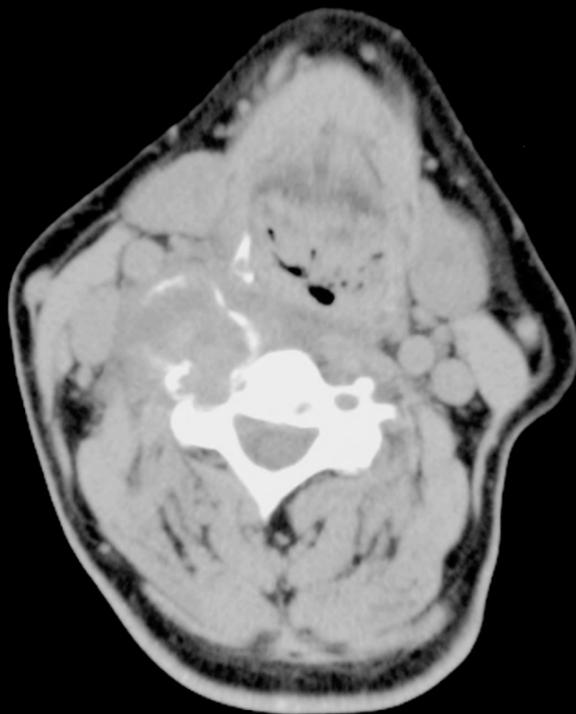
5.1

Page: 1 of 109

cm

椎体より膨張性に発育。(骨組織で薄く覆われる。濃染像、嚢胞形成・出血あり。)

:210.00mm
620: 2:17
80.00mm
0.0D
250,256)

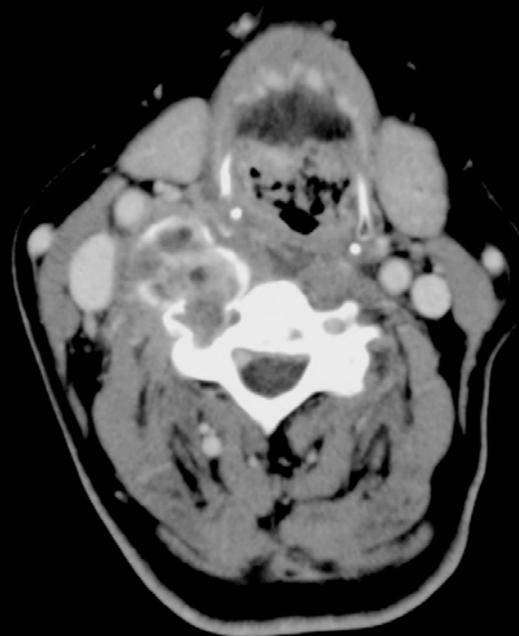


R

/L= 30

11:45:49.228

31.1
4:17
)mm
256)

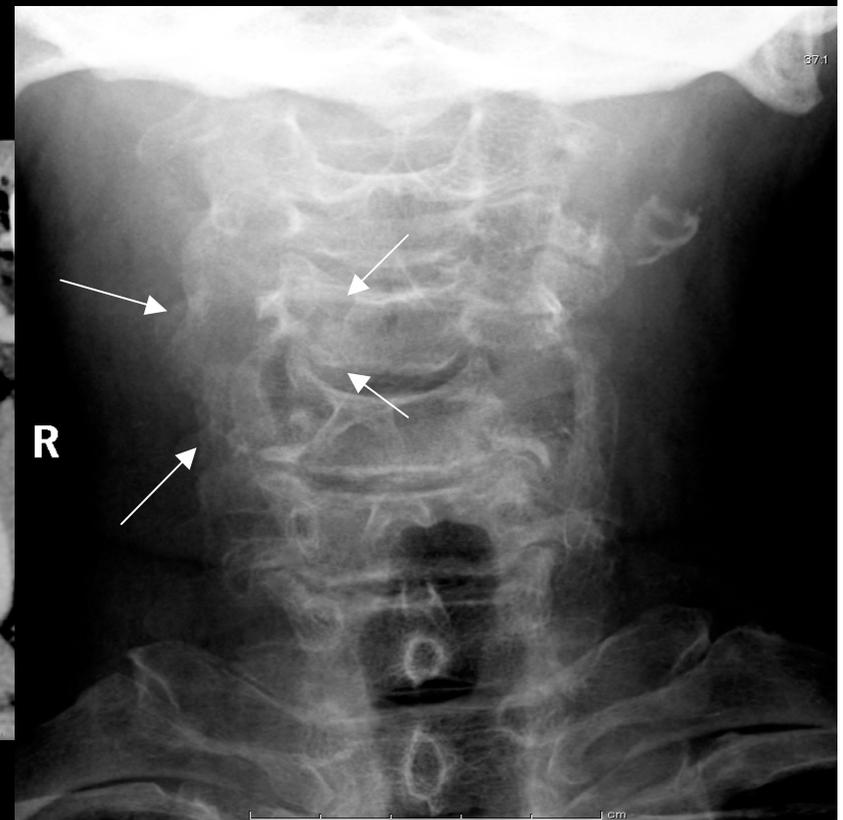
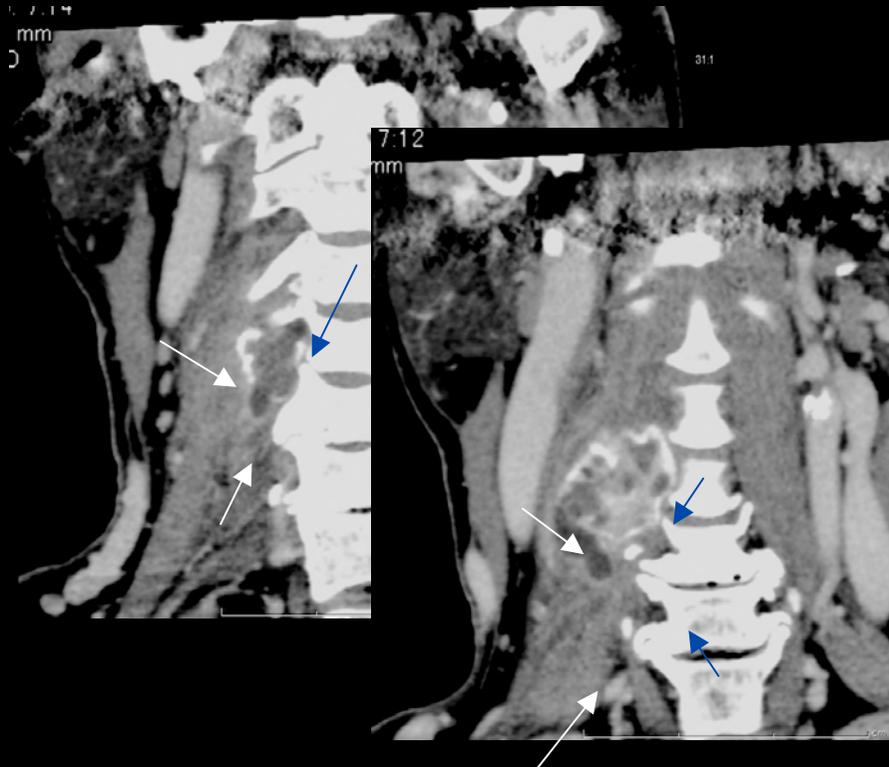


31.1

Axial(単純、造影)

<造影Cor. & X線単純写真>

第4頸椎椎体右側に骨融解像と骨皮質の欠損がみられる。



同部由来の腫瘤（辺縁石灰化）が示唆される。

【病理（所見）】

- ・多核巨細胞が散見される。小嚢胞腔内には出血（+）。
- ・また、毛細血管や線維芽細胞も増生している。
※紡錘形細胞、軟骨 or 類骨組織（-）。

